

山形県コホート研究（山形分子疫学コホート研究）通信 Vol. 3

冬本番に向かう12月。皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年のベースライン調査は寒河江市と酒田市で実施し、昨年に引き続き多くの住民の皆様からご協力をいただきました。スタッフ一同心よりお礼申し上げます。山形県コホート研究（山形分子疫学コホート研究）通信では、ご協力をいただいた皆様に今年度の活動報告をさせていただきますので、ぜひ一読ください。

Contents

- 1, 2013年の主な活動報告
- 2, 食事記録調査が始まりました
- 3, ベースライン調査報告
- 4, 資料のご請求と問い合わせ
- 5, 編集後記

2013年の主な活動報告

同意者数が16000人を突破！（2013年11月12日現在）

2013年は「寒河江市」と「酒田市」で市民の皆様健康診断に参加させていただきました。一般財団法人山形県成人病検査センターでの住民健診に参加している寒河江市の調査では、2013年11月12日現在、1900人の住民の皆様から研究協力の同意をいただいております。また、今年度は主に松山地区や平田地区の住民健診に参加した酒田市の調査では、合計269人の同意をいただき、2013年10月29日に無事今年

度のベースライン調査を終えることができました。なお、寒河江市の調査は2014年1月末まで続きます。



～ベースライン調査の研究説明の1コマ～

酒田市で市民公開講座を開催。

2013年1月19日（土）、酒田市の日本海総合病院を会場に、「知って得する生活習慣病予防の話」と題した市民公開講座を開催、約110名の酒田市民の皆様にご参加いただきました。2回目となる今回の講座では、山形大学医学部松宏准教授が自覚症状の少ない生活習慣病に対して、早期発見と治療の重要性を講演。また、日本海総合病院からは管理栄養士の高橋瑞保先生、理学療法士の佐藤克実先

生がそれぞれ食生活で気を付けたいことや運動方法など具体的な説明を行い、会場を訪れた参加者からは「より実践的な話を聞けて良かった」という声を多くいただきました。



酒田西高等学校で出張講義を開講。

2013年10月10日（木）、酒田県立酒田西高等学校の1年生約200名を対象とした出張講義を開催しました。自分でも知らないうちにストレスを抱えることがあるのは高校生でも例外ではありません。もし、そういったストレスを受けてしまったときに、うまくつきあったり、自分なりに回避する方法を見つけるに欲しいという先生方の思いから開催しているこの出張講義は、今年で2回目となります。今回もストレスがどのように発生するのかなど、医学的な視点で説明したうえで、先輩方

のストレス発散方法を紹介し、自分なりのつきあい方ができるようアドバイスをしました。



酒田西高校の1年生総勢200名が参加。

帝京大学、浜松医科大学より実習を受け入れ。

ゲノムコホート医学教育プログラムでは、ゲノムコホート研究の実際の現場での実習が難しい他の教育機関向けに、昨年より短期実習プログラムを設けています。今年は昨年に引き続き、帝京大学より2名の大学院生が、浜松医科大学より、3名の学部生が実習に訪れました。5名はそれぞれベースライン調査の事前説明を受け、寒河江市のベースライン調査や高島町での調査に参加。受診者に対し、研究説明やインフォ-

ムドコンセントを行いました。研修の最終日には、それぞれがテーマを設けて研究発表を行い、発表後には修了証を受け取りました。



食事記録調査（調査票の妥当性・再現性についての研究）が始まりました

山形県コホート研究では、日本多施設コホート研究（J-MICC Study）と研究協力を行っています。今回、皆様にお尋ねした食生活に関する調査票の内容について、再検討をすることになり、それを実証するために、山形市と酒田市の研究協力者の皆様に調査協力の募集を行いました。この調査は春夏秋冬4季節、それぞれ3日間の食事内容

について、どのようなものをどのくらい召し上がったのか細かく調査させていただくもので、来年秋まで続きます。同様の調査は西日本を中心に各地で実施しております。いずれの地区も協力者の確保に苦戦しておりますが、山形大学では予想を遥かに上回る約500人の応募をいただきました。この場をお借りして改めてお礼申し上げます。



◀グループに分かれていただき、研究目的の説明中です。



◀食事記録方法についての説明では、あまりの細かさにとよめきが起きる場面も。。。

▶撮影方法について、デジタルカメラで実際に練習していただきました。



▶食品サンプルを使って、イメージを膨らませていただきました。

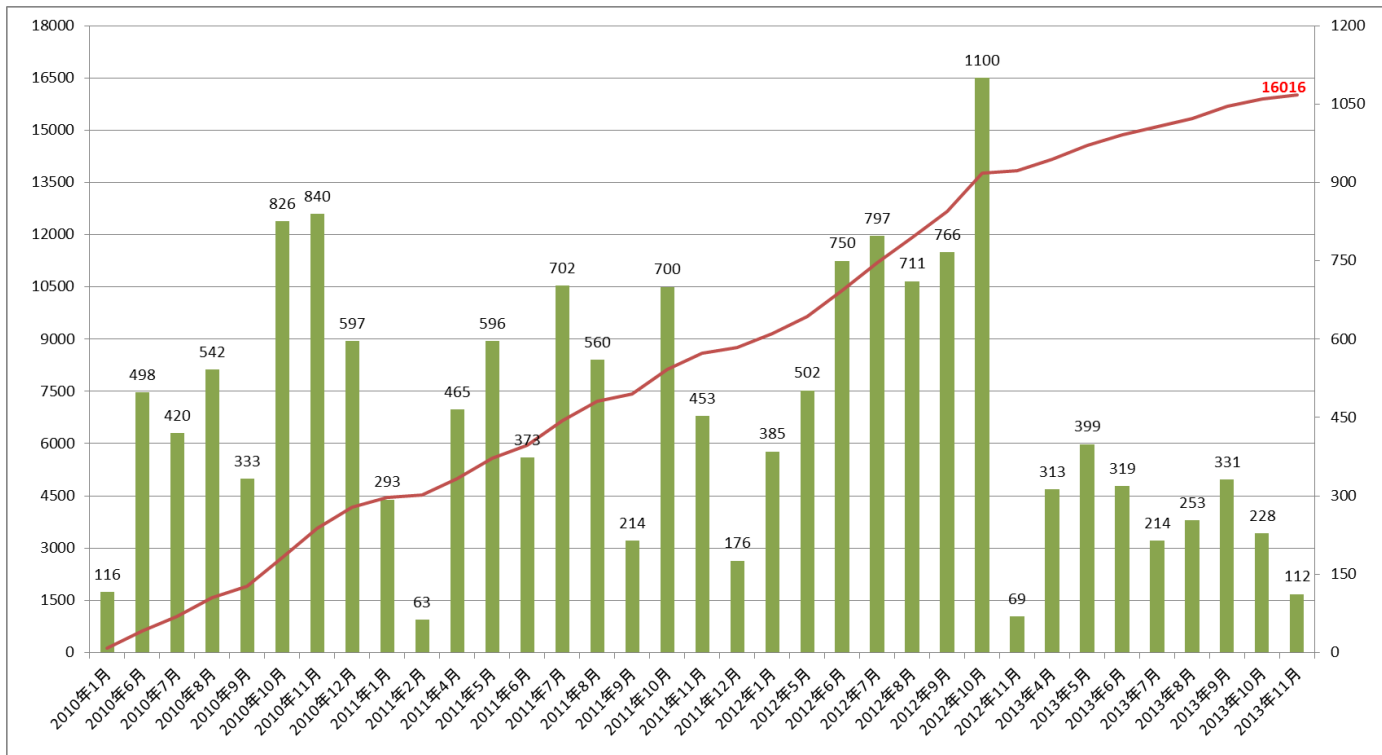


本研究のベースライン調査報告

2013年11月12日現在 総協力者数 **16016人**

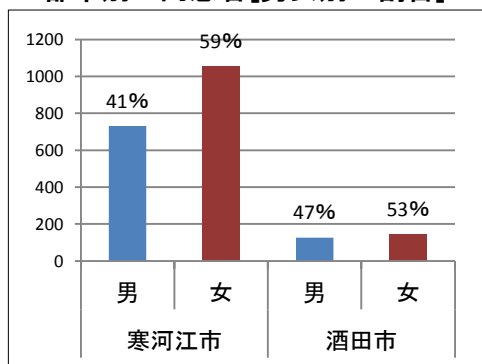
2013年度は寒河江市と酒田市の2都市でベースライン調査を行い、2169名の方からご協力をいただきました。

■研究協力者数(累計)



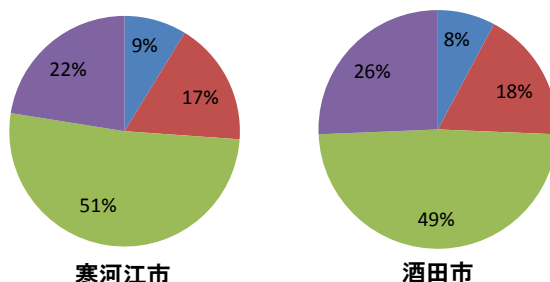
※グラフ中の2013年11月のデータは11月12日までのデータ

■都市別の同意者[男女別の割合]



■都市別の同意者[年代別の割合]

- 40歳代(40-49歳)
- 50歳代(50-59歳)
- 60歳代(60-69歳)
- 70歳代(70-74歳)



資料の請求やお問い合わせについて

- 資料請求について 山形分子疫学コホート研究通信(コホート通信)Vol.1、Vol.2/新聞広告(研究紹介・シンポジウム報告)/研究計画書などをお送りしています。ご希望の方は下記までご請求ください。
- 各種お問い合わせについて 研究についてのご質問・お問い合わせは下記までご連絡ください。

編集後記

昨年、皆様に研究経過をご報告させていただいてから早1年。今年度までの研究協力者数は最終的に17000人近くになりそうです。この数は同様の調査を行っている他地区と比較しても驚異的な数字で、山形県民の皆様の健康への関心の深さ・研究への期待の大きさが伺われます。私たちもその期待の大きさに身の引き締まる思いです。1日でも早くお応えできるよう頑張りますので今後ともどうぞよろしくお願いいたします。(Y.A)

山形大学医学部 メディカルサイエンス推進研究所 ゲノムコホート医学教育ユニット

〒990-9585 山形県山形市飯田西2-2-2 TEL:023-628-5256 FAX:023-628-5197

〒998-8501 山形県酒田市あきほ町30 日本海総合病院内 TEL:0234-28-8262(酒田分室)

受付時間:午前9時-午後5時(土日祝日は除く) e-mail: yamagatacohort@mws.id.yamagata-u.ac.jp